



八鹿青溪



貫徹 慎独 創造

養父市立八鹿青溪中学校 校報
(令和5年11月22日) 第22号



八鹿青溪中 HP

学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

令和5年度合唱コンクール(文化週間最終日)



① 1年2組「COSMOS」



② 1年1組「あなたに」



③ 2年1組「HEIWAの鐘」



④ 2年2組「友」



⑤ 3年1組「信じる」



⑥ 3年2組「心の瞳」

11月10日(金)、やぶ市民交流広場 YB ホールをお借りして令和5年度合唱コンクールを開催しました。この合唱コンクールに向けてどのクラスも連日にわたる練習を続けてきて、これまで校舎内に美しい歌声が響いていましたが、この日はその集大成の場。「あまり勝ちを意識しすぎることなく、いつもどおりの歌声、自分たちの歌声を、平常心で・・・」などと激励させていただいて合唱コンクールを始めました。



⑦ 1年学年合唱「Let's Search For Tomorrow」



⑧ 2年学年合唱「心の中にきらめいて」



⑨ 3年学年合唱「八鹿青溪中学校校歌混声三部合唱版」「群青」



⑩ 全校合唱「大切なもの」



土出真梨子氏・中嶋由紀氏
フルート&ピアノ演奏デュオ

【審査結果】

最優秀賞 3年2組 優秀賞 3年1組 優良賞 2年1組

【学校長講評】

1年生は、とても中学生らしくなり、真の中学生になったと思いました。姿勢・態度・声の大きさなどから力強さを感じさせました。1年2組の「COSMOS」は、実はかつて私が担任したクラスの生徒が歌ってくれた思い出の歌なのですが、その時の学年は3年生でしたから、八鹿の中学生の合唱のレベルが上がっていることを感じさせました。

2年生は、3年生を強く意識した舞台であったように思いました。今の3年生よりも上手に歌うぞという気持ちとともに、

“あと数ヶ月で自分たちが3年生になるのだ”という決意のようなものを感じました。今秋は各部活動の新人戦において“躍進の秋”“飛躍の秋”となっていますが、今後がますます楽しい学年であると思えました。

3年生は、“さすが3年生、やはり3年生”と思わせる舞台であったように思います。下級生の猛追は受けましたが、結局はそれを許さない3年生の貫禄のようなものを感じさせました。また、舞台から下りてきた時の一人一人の表情を見ていると、歌い終えた充実感とともに、終わってしまったという寂しさのようなものがこみ上げていたように思います。あと少して卒業ですが、中学校生活の有終の美を飾ってくれることを祈っています。というか、できることならまだ卒業してほしくないというのも実は私の正直な気持ちでもあります。

文化週間期間中（オープンスクール）は、多くの皆様を八鹿青溪中学校へお迎えして、生徒の学習や生活の様子や教職員による指導の様子をご覧いただきました。また、各種生徒作品の展示コーナーにも多くの皆様に足を運んでいただきました。今後とも、八鹿青溪中学校の生徒および教職員に対する応援をよろしくお願いいたします。ご来校ありがとうございました。